

鹿児島市火山ガス観測システム構築業務委託に関する質問と回答

	質問	回答
11	<p>資料：標準仕様書P2 表2 観測局機器仕様・機能要件 項目：6 全体仕様 (1)システム導入 表2の1 共通事項 内容：使用温度範囲:-10～50℃につきましてガス検知器の製品仕様書にて0～40℃となっております。変更可能でしょうか？</p>	<p>質問事項8で回答したとおり上限につきましては40℃で可能です。下限につきましても、桜島の特性や機器をBOXに入れることにより、熱がこもること等を考慮すれば、必ずしも氷点下10℃の耐久性を必要としない、と判断いたしますので製品仕様につきましては、0℃～でも可いたします。</p>
12	<p>資料：標準仕様書P2 表2 観測局機器仕様・機能要件 項目：6 全体仕様 (1)システム導入 表2の2 火山ガス検知器 内容：測定範囲：0～5.0ppmとありますが0～6.0ppmで問題ないでしょうか？最小指示目盛と警報設定値は記載の使用にて対応可能です。</p>	<p>標準仕様書記載の測定範囲の仕様要件を満たしておりますので問題ありません。</p>
13	<p>資料：標準仕様書P2 表2 観測局機器仕様・機能要件 項目：6 全体仕様 (1)システム導入 表2の6 筐体 内容：野外での長期間の使用に耐え得る素材であること。と記載あります。通常ですとSUSや金属製のBOXを推奨いたしますが、通信機器を内蔵することから、PL型プラボックスを選定しようと思いますが可能でしょうか？ ・電波透過性に優れておりIP65相当になります。</p> <p>※IP65相当・・・耐塵形、いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けない保護等級</p>	<p>標準仕様書の表2観測局機器仕様・機能要件に示した機能を満たしていれば機器等の構成は問いません。各社の提案の一つとして審査させていただきます。</p>